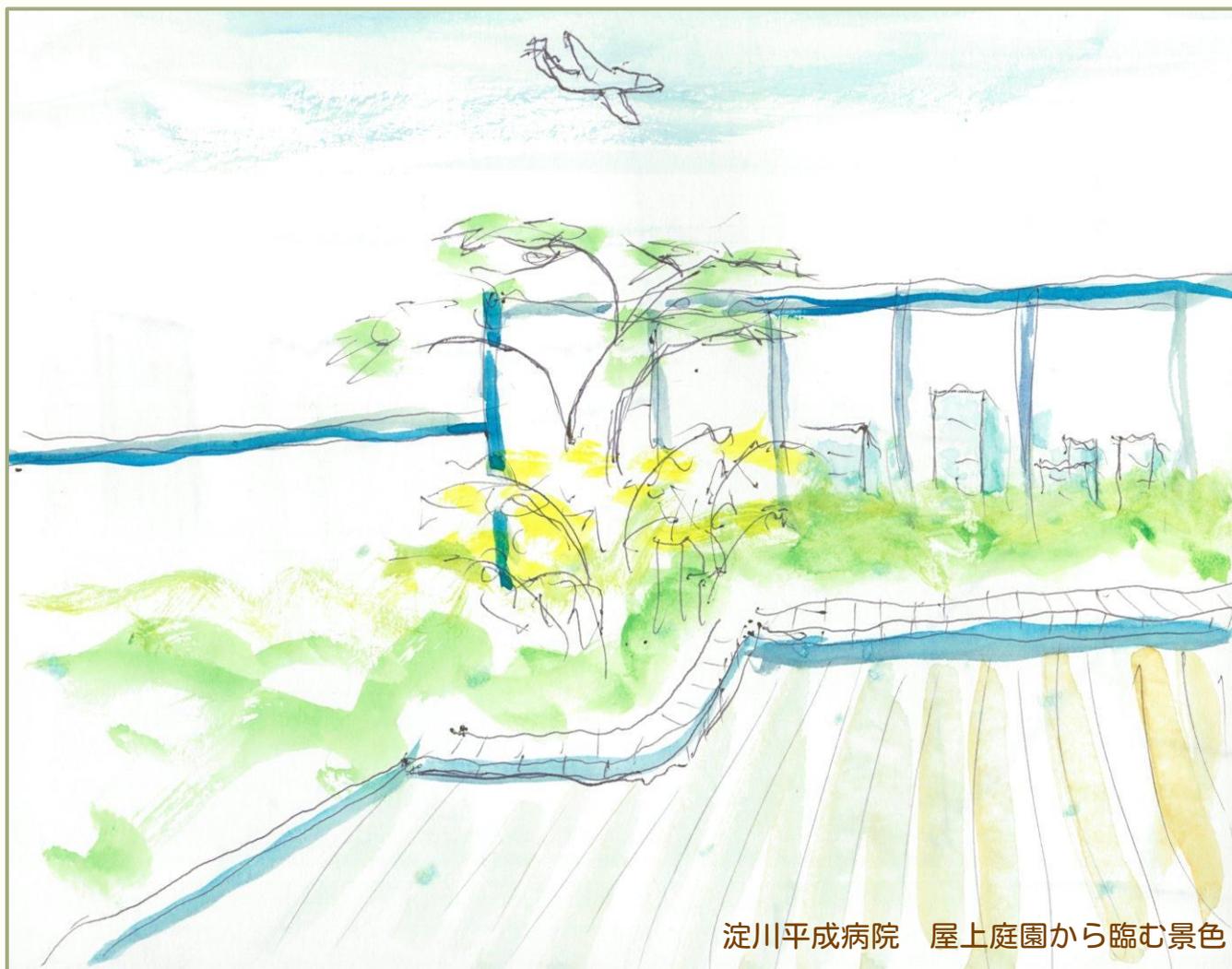


# りはる - Re 春 -



淀川平成病院 屋上庭園から臨む景色

## 訪問リハビリ テーションの ご案内

当院では、退院後の患者さんがより自立した日常生活を過ごせるよう、経験豊かなスタッフによる訪問リハビリテーションを提供しております。確かな技術ときめ細かなサポートで多くの方にご好評をいただいております。当院に入院歴のない患者さんもご利用いただけますので、ぜひご相談ください。

【対象範囲】東淀川区・淀川区内で、病院から半径3km圏内

【提供日時】月～土 9:00～17:00（日・年末年始を除く）

【お問合せ先】淀川平成病院 地域連携室

平成医療福祉グループでは、毎年献立・調理コンクールを開催しており、優秀な成績を修めた献立は、全国のグループ病院・施設での食事として提供されています。

こちらの献立は「贅沢魚づくし御膳」。病院食であまり使われない高級魚ハモを使い、料亭で提供されるような高級感のある内容に仕上げられています。

ウメやミョウガなど全体的に香り豊かな旬の食材を用いて、嗅覚でも楽しめるようにするなど、魚料理をよりおいしく味わっていただくための工夫が光るメニューです。

ほうじ茶ゼリー

ツナとポテトの塩麴炒め

鮭のフライ

鱧の蒲焼き 梅ちらし

冬瓜の清汁



## 2024年 5月～8月当院実績

在宅復帰率	重症度割合	重症患者改善割合	アウトカム評価
87.3%	52.7%	66.7%	61.5

アウトカム評価  
とは…

入院中に効果的なリハビリテーションが行えたかどうか、特定の指数でアウトカムを評価しています。医療保険の基準では、**40以上**であることが求められています。**短い入院期間で生活機能が向上するほど、高い** 指数が出るようになっています

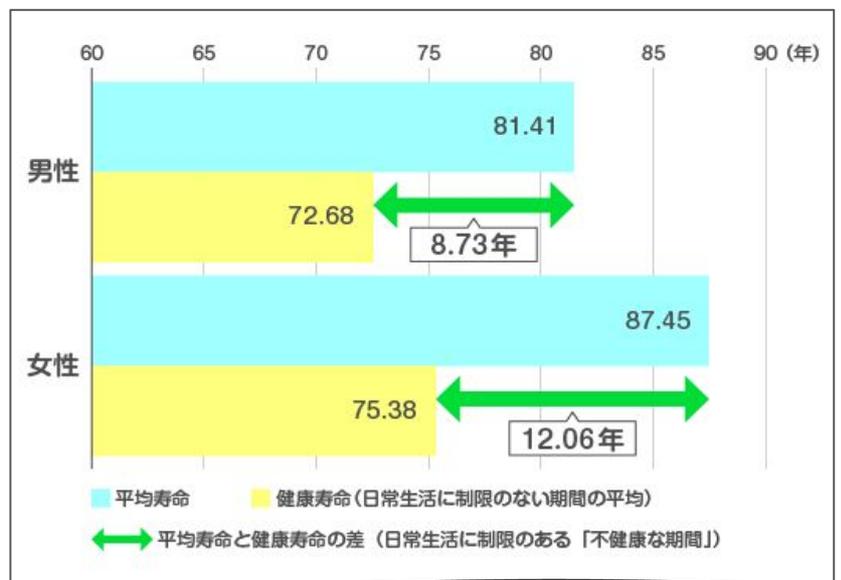
## 《百歳体操》で伸ばす健康寿命

大阪市では、地域住民による互助活動として「わくわく！いきいき百歳体操」が定期的で開催されています。[介護予防推進リーダー]の資格を取得した当院の理学療法士も講師としてこの活動に参加し、体操指導に加え、リハビリテーションに関する講座も行っています。

百歳体操を通じて、住民の皆様は健康意識を高めるだけでなく、地域での人間関係を深め、つながりを育んでいます。より長く地域で自立した生活を送るためには、コミュニティへの参加がとても大切です。

平均寿命と健康寿命の差を縮めることは、生活の質の向上や社会保障負担の軽減に繋がると期待されています。当院は今後も百歳体操をはじめ、地域の健康増進活動に積極的に取り組んでまいります。

平均寿命と健康寿命の差(2019年)  
 厚生労働省 健康寿命の令和元年値について



できるだけ長く自立した生活を維持することが、健康寿命の延伸につながります。百歳体操のようなコミュニティへの参加活動はその一助となります。

## 訪問リハビリテーションとは

ご自宅に退院された患者さんの日常生活動作（ADL）は、退院時をピークに低下していくことが多いとされています。

ADLが低下すると、筋力の低下や身体バランスの悪化、歩行能力の低下につながり、転倒しやすくなります。そして、転倒が多くなると外出への不安感が高まり、外出の頻度が減ります。これにより、日常生活活動や社会参加が抑制され、さらにADLが低下するという悪循環に陥ってしまうのです。



## 淀川平成病院 訪問リハビリテーション

私たち訪問リハビリテーションのスタッフは、利用者様の生活の場へ伺ってリハビリテーションを行います。普段利用者様がどのような環境でお過ごしになり、またどのような人々と関わって生活していらっしゃるかを知ることは、利用者様の在宅生活での自立をサポートする上でとても大切です。例えば、片麻痺のある利用者様の場合、手すりを掴む位置などわずかな環境の違いであっても、ADLの向上に大きく影響します。利用者様が高齢者であれば、住環境の整備はさらに大きく影響する因子となります。

## 「お湯に浸かって温まりたい」をみんなで叶える

退院後、身体機能の低下からシャワー浴しかできておらず、「お湯に浸かりたい」とご希望の利用者様がいらっしゃいました。

お湯に浸かるためには、浴槽をまたぐ動作ができなければなりません。そこでまず浴室の環境をチェックし、利用者様の運動機能で安全に浴槽をまたげるよう、浴室に手すりを取り付け、踏み台を設置することをご家族とケアマネージャーさんに提案しました。

手すりと踏み台の準備ができたら、利用者様に浴槽へ入る動作の練習をしていただきました。併せて、ケアマネージャーさんやヘルパーさんにも、介助する際の動作や見守りのポイントをお伝えしました。これらの積み重ねにより、利用者様は念願の《お湯に浸かる》入浴を楽しめるようになりました。しばらくの間はヘルパーさん見守りの中入浴されていましたが、今では浴槽への出入りも含めて、利用者様お一人でできるようになりました。



## 生活の“自立”を支えるリハビリテーション

このように、利用者様の生活に応じた環境改善や、身体状態や特性に応じた補助具の提案をすることも、訪問リハビリテーションにとって重要な役割の一つです。私たちは、ただ利用者様の身体的な機能回復を支援するだけでなく、利用者様が自宅で楽に生活できるよう、やりたい事を効率的に行えるよう支援しています。

利用者様の身体機能を高める直接的な介入も、利用者様の生活環境や社会活動、取り巻く人々への支援を行う間接的な介入も、どちらもできるというのが《生活の場でリハビリテーションを行う》私たち訪問リハビリテーションの得意技なのです。



利用者様による料理



ご入院中も調理訓練に取り組まれていましたが、退院後も継続してトレーニングを重ねたことにより、身体機能も回復し、調理動作もスムーズになりました。今ではご自宅のキッチンで様々な料理を作っています。

# 緊急時の対応力を高める

今年度も医療安全の一環として、患者の急変時に迅速かつ適切に対応するための訓練を実施しました。

まず、全職員が当院の院内緊急コールに関する座学研修を受講。職員が出演する手づくりの緊急対応研修動画を視聴し、緊急コールの発信の仕方や発生時の対応について改めて理解を深めました。

これを踏まえて後日、抜き打ちで緊急コール訓練を実施しました。訓練には医師も参加し、多職種が協力して訓練用の人形を用いた心肺蘇生に取り組みました。

今回の訓練を通じて、今後の改善に向けた教訓を得ることができました。引き続き、医療安全の向上に努めてまいります。

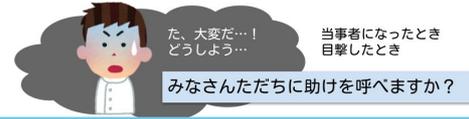
## 緊急コールにみる医療安全

研修資料 (一部)

患者さんや医療者にとって安全・安心が育か

患者さん	医療者
状態の急変時 (= 生命の危機) 離棟 (病院からのエスケープ)	患者さんやご家族さん等からの 暴言や暴力
不審者の侵入	

スピーディな解決のための協力が得られるように…  
緊急コールが設定されています



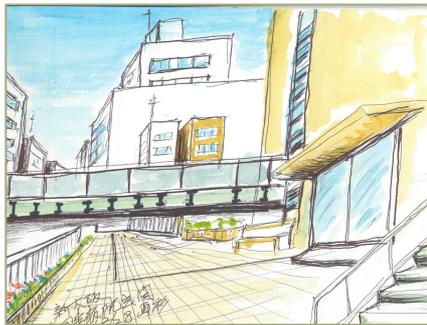
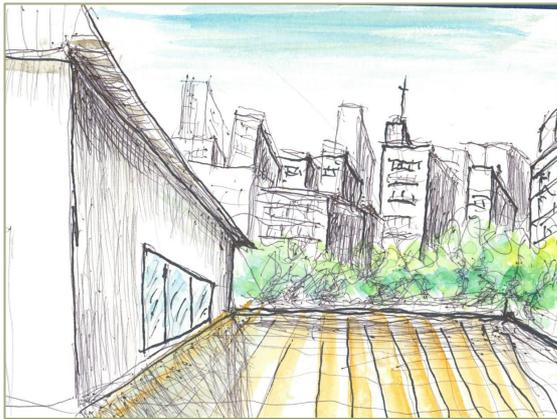
胸骨圧迫の訓練



胸骨圧迫やAEDの準備、  
アンビユーの用意など、  
緊急時対応には手順の理  
解だけでなく、職員同士  
のコミュニケーションが  
大切だと学びました

## 患者さんのArt紹介

今号の表紙は、当院にご入院された患者さんの作品です。水彩画によるスケッチを上手にお描きになる方で、お手持ちのスケッチブックはたくさんの素敵な作品で彩られています。



外来  
受付時間

午前 8:30~11:30 (月~土)  
午後 13:30~16:30 (月~金)

休診日

土曜PM・日曜祝日  
年末年始



医療法人 康生会

淀川平成病院

06-6326-7100

yodogawahp.jp info@yodogawahp.jp

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島6丁目9番3号